

時代にたまるか! 捨てられてきた

「日本の戯曲研修セミナー」in大阪 2019 文化庁委託事業「2019年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

清水邦夫

署名人

秋元松代

ことづけ

&

を読む!

2020年 2月 2days
15日(土)
16日(日)

未来ワークスタジオ

～リーディング上演 & ディスカッション!～

演出家紹介

清水邦夫「署名人」

南出謙吾 (みなみでけんご)

劇団リヤんめんにゅーろん /
らまのだ
石川県出身。劇作家、演出家。

大阪で「劇団リヤんめんにゅーろん」を主宰。東京では「らまのだ」の座付作家として活動。奇を衒うことを嫌いスケッチに徹したやりとりの中に、人と社会の在り様を示す。「触れただけ」で、2016年度日本劇作家協会新人戯曲賞受賞。「終わってないし」第2回北海道戯曲賞優秀賞受賞。「青いプロペラ」で2018年度シアターラムネクストジェネレーション選出。

出演者
赤井
松田
井崎
獄士一
獄士二
ト書

山本祐也 (劇団リヤんめんにゅーろん)
谷屋俊輔 (ステージタイガー)
勝山修平 (慧星マジック)
とだ直史 (劇団 Bee-ple)
磯淵良幸 (俺たちの地球空洞説)
延命聡子 (中野劇団)

演出家紹介

秋元松代「ことづけ」

森本洋史 (もりもとひろし)

広島県出身、大阪市西成区在住。
2006年4月～2018年3月まで関西の劇団、桃園会に演出助手として所属。桃園会 深津篤史を師事。



現在はフリーの演出家として活動。路上パフォーマンスや映画の上映会、講演会など、その時出会った方と交流しながら演劇以外の演出も行っている。昔から、人の怒りに少しばかりの生きている実感を感じ、日常と非日常のゆらぎを、怒りをユーモアで包む作品作りを主としている。

・主な活動
2014年7月利賀演劇人コンクール 2014『マッチ売りの少女』作 / 別役実 (演出)
2018年3月桃園会第50回公演『深海魚』作 / 深津篤史 (演出)
2019年4月～12月島根県の郷土芸能、石見神楽大阪社中の定期公演に舞手、お囃子として参加 (出演)

出演者
母
父
息子
娘
警察

八田麻住 (マスキノソラ)
武田倫和 (ドキュメンタリー制作ノマド・アイ)
上野鷹秋 (KWANED) ト書 岩本侑樹
土見容子 (吉本興業) パフォーマンス テカルコ・マリイ
吉村篤生 (劇の虫) 音楽 ちあきひこ



〒536-0007 大阪府大阪市城東区成育1-4-25
■京阪「野江駅」出入口1から徒歩2分
■JR「野江駅」から徒歩5分
■地下鉄谷町線「野江内代」1番出口から徒歩15分
※セブンイレブン横の白い建物です。